

指導案 中国・四国地方の人々の営み

第3時 「2節 中国・四国地方 ②中国・四国地方の人々の営み」

過程	○学習活動・課題 ・学習内容	◎資料 ◆指導上の留意点
導入 7分	<p><b>【4人一組のグループ構成】</b></p> <p>○これまで（小学校を含む）の学習を振り返る。（PW資料）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国地方5県、四国地方4県の名前</li> <li>・中国四国地方の各県の主な農産物・水産物</li> </ul>	<p>◆教科書 P.194・195 を参考に学びあいホワイトボードで発表させる</p> <p>◆T2 PW資料で簡潔に復習</p>
<p>（3分）</p> <p>展 開</p> <p>21分</p> <p>（10分）</p>	<p><b>どうして瀬戸内地方に造船所が集中しているのだろうか？</b></p> <p>○どうして瀬戸内地域に造船所が集中しているのか予想する</p> <p><b>『すごいぞ日本の造船業！』…日本の造船業ってすごいのか？</b></p> <p><b>【A♥ B★ C♦ D♣のグループごとに席替え（3～4人）】</b></p> <p>○資料を参考にそれぞれの課題について学び合う。</p> <p>A♥ <b>どんな種類の船があり・船舶はどんな役割を担っているのか（造船業の基礎を学ぼう）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな船舶の種類と荷物の特徴</li> <li>・日本の貿易品目で主に船舶が運搬するモノ</li> <li>・国内での船舶輸送で運搬する品目</li> </ul> <p>B★ <b>日本と世界の造船業はどのような状況にあるか</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界における造船業は日本、韓国、中国が中心</li> <li>・韓国・中国・日本の建造量比較</li> <li>・最近、建造量における日本の躍進</li> <li>・日本の竣工量1位今治造船</li> </ul> <p>C♦ <b>日本国内で海運（内航船）はどんな活躍をしているか</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内の農産物や工業製品の多くを運搬</li> <li>・トラックや鉄道コンテナ輸送と連携して物流を支える</li> <li>・環境にやさしい努力。（CO2排出の抑制など）</li> </ul> <p>D♣ <b>船の移り変わりや最新の造船業はどうなっているか</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループでつくる船</li> <li>・歴史上の船の変化</li> <li>・再生可能エネルギーの未来を拓く</li> </ul>	<p>◆予め♥♦♣★を決めておく</p> <p>◆ジグソー調査と報告をT1・T2が机間巡視し支援</p> <p>◎中高生向け壁新聞（日本造船工業会） Shipping News vol.7,8 <a href="https://www.sajn.or.jp/pr/category/中学生・高校生を対象とした学校向け壁新聞">https://www.sajn.or.jp/pr/category/中学生・高校生を対象とした学校向け壁新聞</a></p> <p>◎造船業の現状(国土交通省) ◎産経ニュース</p> <p>◎内航船のいろいろ（日本内航海運組合連合会） ◎日本海事広報協会・甲斐機船・国土交通省北海道運輸局・日本通運</p> <p>◎中高生向け壁新聞（日本造船工業会）</p>
（8分）	<p><b>【4人一組のグループに戻る】</b></p> <p>○ワークシートの課題にしたがい、それぞれが学んだことを報告し合いながら、まとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・船舶の種類や、国外、国内の物流に活躍している船舶の働き</li> <li>・世界の造船業では韓国、中国がライバル</li> <li>・日本の造船業の特色や瀬戸内地域での発展</li> <li>・環境への取組</li> </ul> <p>○『日本の造船業ってすごいのか』について発表する</p>	<p>◆ワークシート（資料）を活用しながら学び合いをさせる</p> <p>◆T1・T2が机間巡視し支援</p> <p>◆ホワイトボードでの発表</p>
	<p>○「国内造船所の地域分布」で国内の造船所を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内の造船所は瀬戸内地域と西九州地域に集中。</li> </ul>	<p>◎日本主要造船所の分布(国土交通省)</p>

**まとめ 19分 (10分)**

**どうして瀬戸内地方に造船所が集中しているのだろうか？**

○班ごとに資料を使い話し合う。

- ・穏やかな入り江の地形。
- ・昔から船の航路で海運業が盛ん。
- ・造船所は沿岸部で広い土地を必要。
- ・石油化学コンビナートの存在。広い敷地と港湾設備が必要。(原材料、製造品運搬で相互に強い関係)

○わかったことを発表する

○船舶にかかわる人々の活躍のビデオを視聴する

◎16種類の資料

**評価：資料を使い多面的に考えられているか**

**T1・T2が机間巡視し、規準に満たない生徒に声かけ**

◆ホワイトボードでの発表

◎『海の上のプロフッショナル』視聴(5分) ◆T2

**家庭学習課題 3分**

○中国四国地方の9県では様々な農産物や水産物が産出されています。これらの農産物や工業製品を販売するためには消費地まで輸送しなければならない。次の産物を輸送する場合、あなたどのように手段(トラック、鉄道、船舶、航空機)を組み合わせる輸送しますか。下記の要因を考えながら説明してください。

要因…	燃費コスト 積載量	鮮度 人件費	輸送時間 その他	環境負荷 (CO2)
-----	--------------	-----------	-------------	------------

愛媛のみかんジュース (東京へ)      高知のマグロ (大阪へ)  
 岡山のマスカット (札幌へ)          広島の牡蠣 (フランスへ)  
 山口の自動車 (鹿児島へ)          島根の畜産肉 (名古屋へ)  
 徳島の木材 (仙台へ)                  鳥取のらっきょう (福岡へ)  
 香川のたこ (長野へ)

○明日の朝、ワークシートを社会科係に提出してください。

教科書、地図帳、資料集、ネット検索で輸送についての資料を使って考える

◎中国四国の交通網(陸上輸送、鉄道輸送、航空機輸送、海上輸送)

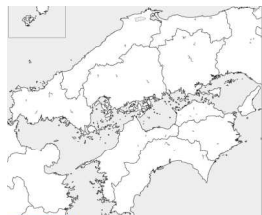
◎重要港と航路

◎空港と空路

◎高速道

◎本州四国連絡橋

**【板書計画】**

瀬戸内地方 	ホワイトボード 7班	ホワイトボード 4班	ホワイトボード 1班
	ホワイトボード 8班	ホワイトボード 5班	ホワイトボード 2班
	ホワイトボード 9班	ホワイトボード 6班	ホワイトボード 3班

**どうして瀬戸内地方に造船所が集中しているのだろうか？**

<b>基礎学習 『すごいぞ日本の造船業!』</b> 日本の造船業ってすごいのか			ホワイトボード 7班	ホワイトボード 4班	ホワイトボード 1班
♥ 船にはどんな種類があり、どんな役割をしているのだろうか？ ◆ 日本国内で海運(内航船)はどんな活躍をしているのだろうか？			ホワイトボード 8班	ホワイトボード 5班	ホワイトボード 2班
♣ 日本と世界の造船業はどのような状況にあるのか？ ♠ 船の移り変わりや最近の造船業はどうなっているのか？			ホワイトボード 9班	ホワイトボード 6班	ホワイトボード 3班

**本日の課題** どうして瀬戸内海に造船所が集中しているのだろうか

**活動1** 学習する前に予想してみよう。

課題を追求する前に基礎学習をするぞ

**基礎学習テーマ** 『すごいで日本の造船業！』日本の造船業ってすごいのか

**活動2** 4人班で分担 (♥・♣・♦・♠) に従ってそれぞれの課題を学習しよう。  
 (あなたの役割に○) 10分間でそれぞれ理解を深めよう

♥ 船にはどんな種類があり、どんな役割をしているのだろうか？	♣ 日本と世界の造船業はどのような状況にあるのか？
♦ 日本国内で海運（内航船）はどんな活躍をしているのだろうか？	♠ 船の移り変わりや最近の造船業はどうなっているのか？

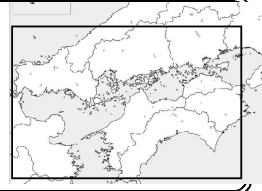
わかったことをメモしておこう

**活動3** 4人班に戻って♥→♣→♦→♠の順で発表を聞いて、『すごいで日本の造船業！』日本の造船業ってすごいのか というテーマで班ごとにまとめよう。5分間でまとめよう

日本の造船業ってすごいのか？ 班のまとめ

班の代表が発表しよう。

日本の主な造船所38事業所のうち、24事業所（63%）が右の地図の□で囲まれた部分（瀬戸内海周辺）にあるぞ。



**本日の課題** どうして瀬戸内海に造船所が集中しているのだろうか

**活動4** 資料1～資料15の資料から、班ごとに課題『どうして瀬戸内海に造船所が集中しているのだろうか』の答えを導きだそう。

条件…10分間の追求活動とする。資料数も多い。資料プリントは4ページ。各班で計画をたてよう。

{ 例) 課題の理解・計画で1分・4人が1ページずつ資料を分担し読み込みに5分。  
 班としてのまとめに4分

資料からわかったことを個人でメモしておこう

**活動4-2** 『どうして瀬戸内海に造船所が集中しているのだろうか』について、班で話し合った結果をホワイトボードに書きましょう。文章でも良いし、箇条書きでも良い。

**活動4-3** 各班の発表

**活動5** 船舶にかかわる人々の活躍ビデオ『海の上のプロフェッショナル』を視聴しよう。

**今日の授業の感想**

**家庭学習の課題（宿題）**

- 中国四国地方の9県では様々な農産物や水産物が産出されています。これらの農産物や工業製品を販売するためには消費地まで輸送しなければならない。次の産物を輸送する場合、あなたはどのように手段（トラック、鉄道、船舶、航空機）を組み合わせる輸送しますか。下記の要因を考えながら説明してください。

要因 燃費コスト 鮮度 輸送時間 環境負荷（CO2） 積載量 人件費 その他

■教科書・地図帳・資料集・ネット検索等を活用してよい。

（例）車→船→鉄 のように記入しよう

産地	品物	輸送先	車（トラック）、鉄（鉄道）、船（船舶）、空（航空機）
愛媛	みかんジュース	東京	
高知	マグロ	大阪	
岡山	マスカット	札幌	
広島	牡蠣（カキ）	フランス	
山口	自動車	鹿児島	
島根	畜産肉	名古屋	
徳島	木材	仙台	
鳥取	らっきょう	福岡	
香川	たこ（鮎）	長野	

2年 組 番:氏名